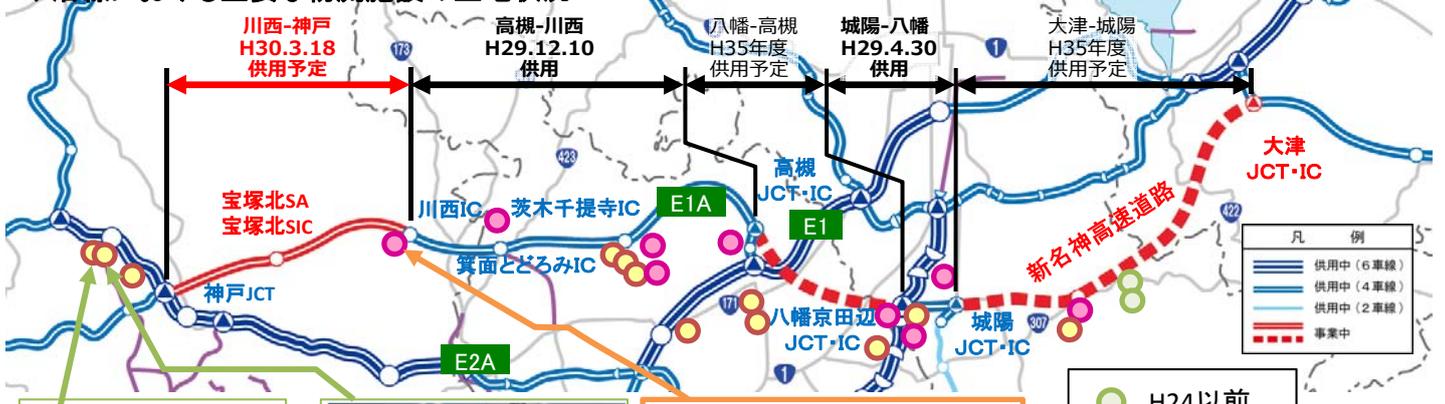


沿線への企業進出

～新名神沿線地域で進む物流施設の立地～

- ・新名神高速道路の沿線では、物流施設等の立地が促進されており、この5年間で物流施設の立地面積の累計が約8倍増加しております。
- ・新名神高速道路(高槻～神戸)の開通により物流の円滑化が期待され、新名神沿線での更なる企業立地の促進や雇用の創出が期待されます。

◆沿線における主要な物流施設の立地状況

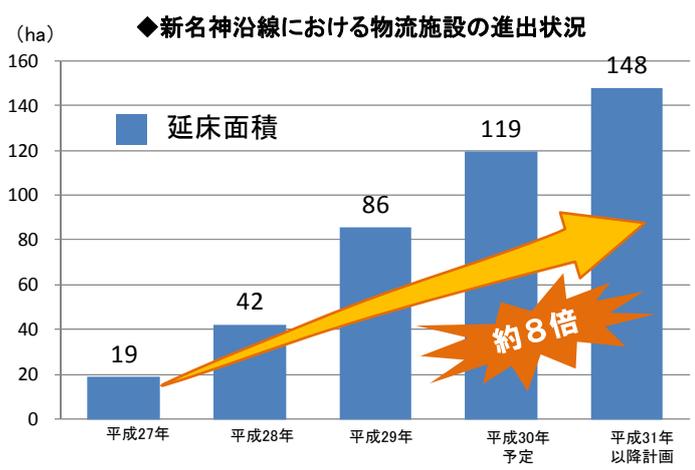


(株)三菱地所
ロジクス神戸三田
敷地面積: 約2.0ha
延床面積: 約1.4ha
平成29年開設

大塚倉庫(株)
西日本ロジスティクスセンター
敷地面積: 約4.1ha
延床面積: 約1.4ha
平成27年開設

プロロジス猪名川プロジェクト
(猪名川町産業拠点地区)
開発面積: 約45.2ha、延床面積: 約25.8ha
平成33年 第1棟竣工予定
想定雇用人数: 約1,500人

- H24以前
- H24以降
- 立地予定



出典: NEXCO西日本調べ(新規立地施設の延床面積の累計)

・新名神の川西ICに近接している利点を生かし、町有地の有効活用と民間ノウハウを活用した新たな産業団地を整備しています。
・雇用拡大や交流人口の増加に期待しています。(猪名川町)



出典: NEXCO西日本ヒアリング調査

・物流は翌日配送、時間指定配送などサービスの競争が激しくなっており、高速道路の役割は重要です。
・新名神(高槻～神戸)の開通により、事故時の代替路確保や渋滞解消による定時性の向上が期待できます。(プロロジス)

◆新名神沿線にある事業所における就業者推移(猪名川町)



出典: 産業別従業者数(経済センサス)